

社会に満足を。

商品の品質向上・ 安全性確保

高品質で安全性の高い商品・サービスを提供することはもとより、事故・故障・不良品の発生の未然防止に努め、より高い安全と安心をお客様へお届けしてまいります。



1 品質基準の確立と製品安全性の確保

プラス株式会社 前橋工場では生産量だけではなく、品質にも最善を尽くしています。カスタムオーダーに対応する製造ラインでは、お客様の想いをカタチにするため、高度な加工が可能な機械を導入しています。一方で、高品質の製品をお届けするために最も重要なのは人の技術力だと考えています。そのため、国や地方自治体公認の技能検定に合格した社員を優遇する制度を導入しています。また、前橋工場では、「一人ひとりの安全意識の向上」に力を入れており、教育の一環として社員同士の危険予知活動や外部講習の受講を推進しています。

危険予知活動は職場で起こり得る災害を未然に防止するための活動です。小集団活動の中で「どうしたら未然に災害を防ぐことができるのか」の意見交換や、それぞれが気付いたことを共有し合い、日頃から安全意識の向上を図っています。さらに、安全管理に関わる外部講習を受講しています。受講者は各現場にて講習で学んだ知識を工程内の社員に伝えます。これらにより安全に対する意識を高め、個人としての作業の取り組み方や安全に対する意識の変化に繋げています。

●前橋工場 行動指針

- 一人ひとりがユーザー目線をもって製品を検証する
- 製品価値はお客様が決める
- 安全性はプラスが担う
- 設計、製造、調達、すべてにコスト意識を
- 五感で品質を見極め、妥協のないモノづくりを
- 常に一步先の未来を見据えて、変化し続けよう

●品質・安全確保に向けた前橋工場の取り組み

- 新卒、中途社員入社時の安全教育
- 製造部門配属時の各課安全教育
- 外部での危険予知トレーニング受講促進(工程責任者、技術部門の間接社員対象)
- 人命救助の教育訓練の定期的な実施
- フォークリフト外部安全講習

2 高品質で安全性の高い物流サービスを構築

プラス ロジスティクス株式会社は、常にお客様の最前線に位置する「物流パートナー」として「好感度No.1」をモットーに、プラスグループのみならず幅広い業種・業態のお客様に最適で高品質なサービスの提供を目指しています。例えば家具をお届けするだけでなく、あわせて内装工事・家具施工にも対応できる物流システムを構築しており、お客様のニーズに合わせワンストップですべてをお任せいただけます。

また、プラス カーゴサービス株式会社は、「届けるを、もっと自由に、新しく。」というテーマのもと、お客様ごとのニーズに合った配送方法・配送ルートのカスタマイズすることで、オンリーワンの物流サービスを展開しています。

さらにプラス株式会社 前橋工場では、JIS(日本産業規格)に準じた独自の基準で品質を管理するとともに、物流品質の向上

のため、全国の主要拠点で物流・施工の協力会社様と家具勉強会を実施。家具の歴史や製品知識に加え、配送・施工時の注意点を共有しています。今後も協力会社の皆様とともに取り組んでいきます。



家具勉強会の様子

3 パートナー企業と歩む品質向上の取り組み

グループ連携で目指す品質向上活動

プラス ロジスティクス株式会社は、物流センター稼働後も荷主企業様との定例会を設け、KPIに沿って定期的に相互チェックを行い、継続的に物流改善を図っています。また、配送や組み立て設置を行う配送パートナー企業様に対しては、お客様と直に接するドライバーの方々を対象に講習会を開催し、パートナーごとに異なる改善課題の共有・意見交換を定期的に行っています。物流品質の向上を目的とするだけでなく、現

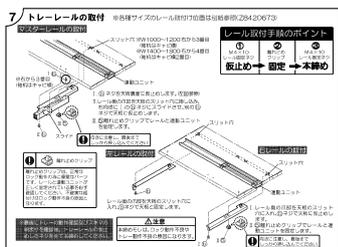
場で起きている事象や声を吸い上げ、荷主企業へのフィードバックを実施することでサプライチェーン全体での物流課題解決を目指しています。

その結果として、お取引先様およびお届け先のお客様にご満足いただける高い物流品質を実現できるよう、本部と現場が一丸となって取り組んでいます。

プラス株式会社 ファニチャーカンパニー×プラス ロジスティクス株式会社の取り組み

プラス株式会社とプラス ロジスティクス株式会社では、家具の組み立て設置時に作業ミスが起こらないよう、実際に現場で起きている事象を活かして常にアップデートを図っています。例えば、家具設計者が作成した組立説明書をそのまま使い続けるのではなく、発生してしまったミスに対して回避するための手順を追加するなど、都度、内容を見直しています。また、わかりづらいパーツには梱包段階で判別用シールを貼るなど、企画製造側・物流側の双方で意見を出し合い、間違いを事前に防ぐために工夫しています。

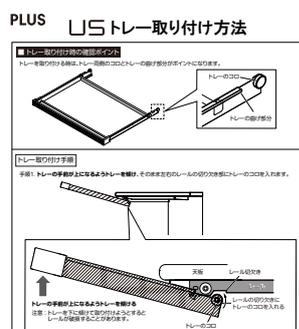
■従来の説明書



間違いやすいポイントを解説する手順書を追加



■手順書を追加



パーツの前後を示す判別用シールを貼付

物流の効率化で目指す品質向上

プラス ロジスティクス株式会社では、物流業界の慢性的な人手不足やドライバーの労働時間を規制する「2024年問題」への対応を喫緊の課題として捉え、物流業務の効率化に取り組んでいます。これを実現する手段の一つとして倉庫の自動化を推進しており、既存のソリューション導入だけでなく、パートナー企業様と新たなシステム開発を行うなど、既成概念にとらわれず荷主様ごとに適したシステムやマテハン[※]を設計・ご提案しています。

自動化された物流センターでは、作業負担の軽減による省人・省力化や生産性の向上、ピッキングミスの軽減による出荷精度・物流品質の向上、保管効率の改善といった効果が得られています。引き続き、物流の課題を解決するとともに物流の最適化を推進していきます。

※マテリアルハンドリング(工場や倉庫などで材料や製品を運搬すること)の略称で、製造や物流の現場における物品の移動や保管業務に関わる機器、および仕組み全般のことを指します。



ユアサ商事株式会社様、株式会社Phoxter様とプラス ロジスティクス株式会社の3社で開発した自動搬送システム「ツインピック」。高層棚用と低層棚用2種のロボットを同時制御するユニークで革新的なシステムで、国内初事例・実用新案を取得しており、物流業務を受託している「ユアサ商事 関東物流センター」に導入しました。